

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(751)0091
担当部課名	生涯学習部	青少年	課	青少年学習センター
事務事業名	親子ふれあいの広場経費		事業コード	14220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第2節	青少年の健全育成	~63年度
施策名	第2施策	家庭・地域の教育力の充実と学校との連携強化	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
11月の「全国青少年健全育成強調月間」中の事業として親と子がレクリエーションを通じて日常では味わえない体験を共有するとともに、青少年の健全育成に対する理解と自覚を高めるために実施。(親子ふれあいの広場実行委員会へ委託)			
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
開催日...平成13年11月11日(日) 場 所...淵野辺公園 参加者数...約40,000人		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	目標来場者数による達成率		
指標式	来場者数 / 目標来場者数		
指標設定の意図	来場者数対前年比0.5割増を目標値とする。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	35,000.0	35,000.0	a 40,000.0	b 36,750.0	42,000.0
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	2,200	2,200	2,400	2,400
	人員・時間数	(6.0人)	(6.0人)	(7.0人)	(7.0人)
	人件費	1,589	1,589	1,672	1,672
	その他経費				
	合計	3,789	3,789	4,072	4,072
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A:達成している (100%)	理由: = 、 、 の平均値 = 108.8%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
a	40,000.0	c	
b	36,750.0	d	
$\times 100 = 108.8\%$		$\times 100 =$	
$\frac{e}{f} \times 100 =$			
理由:	来場者は多く、経済性・効率性は高いが、内容の再検討が必要である。		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A:適応している	理由: 親と子が共に楽しむ事業は必要であるが、よりニーズに合った内容にしていく必要がある。	
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由: 経費に対し内容は充分であり、来場者も多く経済性・効率性は高い。	
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A:代替の可能性ない	理由: 既に実行委員会に委託しており、また他部事業との合同開催のため連絡調整もあり、代替の可能性は低い。	
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A:満足できる	理由: 来場者は非常に喜んで過ごしており、楽しみにしている親と子もいる。	
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由: 来場者も多く、健全育成事業の啓発には重要である。	
	B:一部有効である		
	C:有効でない		
<p>評価バランスチャート</p>		<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: ニーズに合った内容への再検討が必要である。</p>	
		<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 実行委員会を構成している各団体の自己負担が多い。</p>	

7 総合評価

評価	B ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	ニーズに合った内容への再検討を実施する。
<input type="checkbox"/>	継続		
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

・実行委員会の自主事業への転換、類似事業との統合等について「青少年健全育成プラン」の中で総合的に検討すべきである。